

大崎市民病院を受診された患者さんへ

当院では下記の研究を実施しております。

この研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供することを希望されない場合は、下記の間合せ先にお問い合わせください。

情報の利用停止を希望された場合でも、治療に影響が出ることはありませんので、安心してお申し出ください。

NO.574

研究課題名	がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究
当院の研究責任者	所 属 : 臨床支援室 氏 名 : 竹内 満博
他の研究機関および各施設の研究責任者	国立がん研究センターがん対策情報センターがん臨床情報部 東尚弘
本研究の目的	院内がん登録と DPC (Diagnosis-Procedure Combination と呼ばれる、診療データ) の一元管理を試み、がん医療の実態を把握するデータベースを構築するとともに、その活用法を検討することを目的とします。
対象者	全国のがん診療連携拠点病院を中心として、院内がん登録実施施設に対して、研究参加を呼びかけ、参加の応募を頂いた施設からデータの提供を受けます。2011年1月以降に参加施設を受診されたがん患者さんが対象になりえます。
調査データ 該当期間	研究期間 西暦2018年9月25日 ~ 西暦2020年12月31日
研究の方法	始めに、参加施設内で DPC データから、氏名・診察券番号を削除して代わりに院内がん登録で個人情報削除の際に置き換えられた専用番号を付けたものを、国立がん研究センターに集積してデータベースを作ります。そのデータの一つの活用法として、診療ガイドラインで推奨されている一定の範囲の標準診療実施率を中心として、その他患者さんが受けている診療の実態を記述します。これらのデータからは、同一の施設以外で行われた診療行為や、標準診療を行わない診療上の理由などについては捕捉が出来ませんので、算定結果を各参

	<p>加施設に返却して、標準診療未実施の場合の理由等についても診療録から検討してもらいます。そうすることで、このようなデータを使った標準診療実施率算定が適切かどうかを検討したり、また、施設における治療方針を検討したり、また、国のがん政策への基礎資料を提供する、といったことが可能になります。データ保持期間についてはがん登録部会の規定に従います。</p>
使用する試料等	<p>院内がん登録と DPC データを用います。このデータに含まれる情報は以下のものが挙げられます：性別，診断名，診断年月，初回治療方針，ステージ，施設名，入退院年月日，診療明細等</p>
試料情報の他の研究機関への提供および提供方法	<p>上記「研究の方法」に記載されているとおり。</p>
個人情報の取り扱い	<p>院内がん登録の専用番号と参加施設の診察券番号の対応表は、参加施設において院内管理者が鍵のかかる場所で管理します。研究事務局へのデータの提供は、アクセス権を付与された担当者のみが利用できるシステム上で行われます。収集されたデータは国立がん研究センターの高セキュリティ領域に保存され、研究責任者により個別のアクセス権を付与された者のみがアクセスできる状態で保管されます。外部へのデータの提供は行いません。外部への成果の公表は、学会・論文発表あるいは公開の報告書といった形で行われ、学術・がん対策に活用されます。報告に際しては、常に集団を記述する数値データのみを報告とし、個人が特定される可能性のある個別データの報告・公表は一切行わず、かつ特定の個人が発表成果から同定できないように十分に配慮されます。</p>
本研究の資金源（利益相反）	<p>ありません。</p>
お問い合わせ先 (照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先)	<p>住所：大崎市古川穂波三丁目8番1号 電話：0229-23-3311 研究担当 大崎市民病院 臨床支援室 佐々木 祐子</p>
備考	